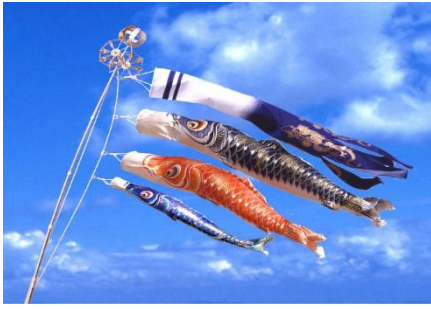




2024年5月8日

社会福祉法人清流

さつきの家

施設長 小川裕子

「さつきの家」だより

5月です！！さて、新年度に入ってからの一か月は、あなたにとって長かったですか？それとも、短かったですか？

以前、「子どもはが常に新鮮で、いろんな経験をするから一日を長く感じる。」というのがあって、（そうか！長い方が若いのかー）と、私は単純に考えました。しかし！「老人は、過去の記憶があいまいで薄くぼんやりしているから、過去を遠く長く感じるのだ」という事が先日の中国新聞に掲載されており、＜はて？＞わからない…になりました。私にとっては「死ぬほど長いと感じる4月」でしたが、長い短いにこだわることなく、それをみんなでなんとか無事終えることができた事実だけで、良いことにしました。

☆みんなへのインタビュー☆

さて、さつきの家のみんなは、この1か月をどんな風に思っていたのでしょうか・・・。
4月を終えた仲間たちに、「今どんな気持ちなの？」インタビューしてみました。

「さつきの家は、楽しいですねー。」（新入所の田村さん）

「すごく緊張するけど、まなびキャンパスから飛谷くん明日香さんが来てくれて、びっくりしました。」（3年目の山本くん）

「さつきの家 好きです。楽しいです。」（2年目の神原くん）

「楽しい。さきおりが楽しい。」（3年目の長崎さん）

「（さつきの家楽しい？）ウン！（お掃除ありがとう）ウン！（バス頑張ってるね）ウン！」（新入所の飛谷くん）

「（さつきの家どう？）キョロキョロ（好きな人は誰？）小原さん（緊張した？）ウン」（2年目の中田くん）

「うーん、ちょっとー、こまったよー、あしたーみんなとねー、みのりとー、えっとー、あうあういく。みんながかなしくなって、みんなでおでかけしよう。どうぶつえんいこうねー。」（2年目の森山さん）

「キティ！たのしい」（つちくれ2年+さつきの家3年目の西本さん）

「（3年目の余裕が出て来たね）うん！」（3年目の大畑さん）

なんだが、インタビューが楽しくなってきたので、職員にも聞いてみました。

「若いスタッフが揃ってきて頼もしいのですが、自分は歳をとってきたのでしんどいです。」（奈木野看護師）

「3年もたっているのに、まだつかみきれません。日々勉強です。」（柏原）

「やっと生活のリズムがつかめてきました。（4月は長かった？）短かったです。あっという間でした。」（1年目・丸亀）

「体操を週2回することが出来て、仲間とスキンシップ出来ています。自分の体調も整っています。（体操効果絶大ですね!）」（3年目関東PT）

「最近元気です。さつきの家は週に1回必ず出てるから規則正しくて。」（向井田 Vo.）

「元気です。やっと慣れ始め、悩みも出つつ、どう仲間にしてもらおうかな、って考えられるようになってます。」（山本圭）

「通勤に慣れてきました。アストラムライン・修大の山歩き。思ったより体力がついてきました。」（1年目大丸）

「毎日あっという間に過ぎていきますが、一人ひとりに翻弄されています(^_-)」（吉本）

「なかなか慣れない。1階2階いろいろ出向いていて対応してます。」（藤井栄養士）

～1日おいて、水曜日の今日、続きを続行してみました。～

（中川さんにインタビュー）「エヘヘ、うー、えー、エヘヘ、うーん、うー!」（ありがとう! しっかり発声したね。みんなと音楽した後だったから、楽しかったんだね。）

（三輪田くんはどうですか?）「鈴が峰にまだ慣れていないので、少しずつ頑張ります」

（ありがとう! ワタミを受けた時に笑ってたし、ハナミズキを歌った時も笑ってたね。）

「どういたしまして」（録音してもらったスイッチを利用しながら会話しました。）

「長かったです。1・2年走っていたけれど、3年目にやっと立ち止まりました。」（外野）

「なんだかいろいろあって濃かった4月。後半は、平和だったな。」（橋本）

「新しい人も落ち着いてきていて、新しい職員も、元からいる人も頑張っていて、それを見るだけで元気になる。食事介助している姿、リスペクトしています。」（屋敷）

※「さつきの家だより」は、地域みなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信していきます。ご意見等聞かせていただけると幸いです。

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）

082-942-4779（FAX）